

第74回歩く会 2022.10.8-10.9

今年の歩く会は、4年ぶりの2日間実施となりました。感染症対策を十分に行った上で、（詳細は「保健室から」のページをご覧ください。）今年も、常陸大宮市を出発とし、本校に宿泊、2日目は那珂川沿いを歩行するコースとなりました。

実行委員会のメンバーは、詳細について直接聞ける先輩がいない中、昔の記録をたどりながら試行錯誤し、連日遅くまで、行動計画を立てたりしていました。



常陸大宮知道会の方が激励に駆けつけてくださいました。実行委員が打合せをしています。



校長先生からは「最後まで歩ききることが大切」「色々な人に支えられていることを忘れないこと」、常陸大宮知道会長さんからは、歩く会の思い出についてお話いただきました。



歩く会実行委員会長のあいさつの後、準備体操をして中学生を先頭に出発です。



中学生の各クラスにも高校生の実行委員が付き、サポートしています。



建設会社の方が、のぼり旗を何か所も立てて、応援してくださいました。



気持ちの良い晴天の中を歩いていきます。



田園風景の中に歩く会の行列が続いていきます。家の前で応援して下さった地元の方が、「(行列が)きれいだねえ」とつぶやいておられたのが印象的でした。



珍客(?)さん達の応援を受けながら、沈降橋を通過します。



日も暮れて中休止地に到着。中学生の歩く会はここまで(23.5km)になります。



校長先生（先頭）から激励を受け、本校を目指してひたすら歩き続けます。



学校までもう一息です。



ゴールでは、学苑祭で作ったオブジェが幻想的に生徒を迎えました。



明るく光っているのは安全のためのヘッドライトと赤色灯です。



医療処置の体制も万全です。生徒は、各教室で仮眠をとり、明日の自由歩行に備えます。



2日目の朝の様子です。出発式、準備体操をしています。



学校から、那珂川沿いの出発地点まで移動します。



自由歩行の各所には教員が立ち、救護所に医療チームが待機するなど、安全な運営に努めています。編者の立つ地点の向こう岸に生徒が歩く姿が見えました。



今回は順位を競うことはせず、各自のペースで進むことになっています。ゴールしたら受付で到着確認をします。



医療チームの皆さんと一緒にコースを歩き、生徒の医療ケアをしてくださいました。また、校長先生も自転車でコースに出向き、最後の生徒がゴールするまで傍で見届けました。

疲れているのにも関わらず、編者に「(立哨) お疲れ様です!」と笑顔で声をかけてくれる生徒たちの姿に感動しました。

編者が学校に戻ると、実行委員の生徒がレンタルトイレの掃除をしていました。最後まで手を抜かない生徒たちに頭が下がる思いです。